



下京のひびき

市民しんぶん下京区版

11・15

推計人口	男	女
80,713人	37,248人	43,465人
世帯数	45,533世帯	
(平成26年10月1日現在)		

12月は
人権月間です

ヒューマンライツ・コンサート

～音楽に込められたメッセージ～

入場
無料



「世界人権宣言」が昭和23年12月10日に国連で採択されたことを受け、本市では12月を人権月間と定め、下京区においても人権に関わる様々な取り組みを行っています。

今年は、「ヒューマンライツ・コンサート」と題して、普段何気なく聴いているクラシック音楽や世界の歌曲などについて、作曲された当時の人権にまつわる社会的背景や、曲に込められた思いなどを分かりやすく解説した後、アンサンブルによる生演奏をお聴きいただく「トーク&コンサート」を行います。ぜひお越しください。

音楽からのメッセージを人権について考えるきっかけに！誰もがいきいきと暮らせるまちを共に築きましょう。



京都市長 門川 大作



(写真はイメージです)

演奏曲例

- ◆ヴィヴァルディ 『四季』より「冬」
- ◆モーツァルト 『フィガロの結婚』序曲
- ◆日本やアメリカなど世界の歌曲や民謡

バイオリン、ビオラ、チェロ、フルートのアンサンブルをお楽しみください♪

日時 12月11日(木) 午後2時～4時
(受付：午後1時15分～)

場所 池坊学園「こころホール」(室町通四条下る鶏鉾町)
定員 100名(先着順)

主催 下京区ふれあい事業実行委員会区民啓発部会、
下京区地域啓発推進協議会、下京区役所
共催 下京区地域女性連合会、
下京区市政協力委員連絡協議会会長会
☎ 地域力推進室まちづくり推進担当 (☎ 371-7170)

申込方法

11月19日(水)から12月3日(水)までに
京都いつでもコール (※右下参照) にお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は「下京区人権月間事業」と記載のうえ、氏名、電話番号、複数で参加の場合は全員の氏名を明記。定員に達した場合、受付を終了させていただきますのでご了承ください。

講師 まつもと しずお
松本 城洲夫氏

(イタリア生活文化交流協会会長)

龍谷大学で長年にわたって「人権論」を担当した後、現在は、民間の立場で人権教育、人権文化事業などに取り組んでいる。



演奏 アンサンブル・サビーナ

世界的なホルン奏者やトランペット奏者と、日本の若い音楽家で作る「友情のサビーナ・オーケストラ」の中から結成したアンサンブル。「音楽と人権」「音楽と時代精神」などをテーマとしたコンサートに取り組んでいる。



後進の指導にあたられる浦松係長

式典の後、明治時代にアメリカから輸入された機関車「義経号」の走る姿を17年ぶりに公開。この日を心待ちにしていた鉄道ファンや近隣の保育園児たちを乗せて、敷地内の線路を3往復しました。
平成28年春に京都鉄道博物館が開業予定の梅小路公園界隈は、鉄道の歴史や技術を伝える聖地として今後ますます人気を博し、賑わいのあるエリアとなっていく予定です。

10月10日、梅小路蒸気機関車館で、梅小路運転区100周年記念式典が行われました。蒸気機関車の整備・運行を担ってきた同運転区は、1914(大正3)年に「梅小路機関庫」として誕生して以来、職員の皆さんの確かな技術力をもって鉄道の歴史を支えてきました。
鉄道車両や沿線設備の点検修理を行う検修職場で35年近く働かれ、現在は梅小路運転区で後進の指導にあたっておられる浦松係長(写真左)は、「蒸気機関車の検修は体力仕事。人命を預かる大事な仕事なので緊張する場面も多く、苦勞は絶えませんが、その分、たくさん思いもあり、感慨もひとしおです」と述べておられました。



「鉄道の歴史を支え続けて1世紀」
**梅小路運転区が
開業100周年**

絆・魅力・伝統を未来に
つなぐまち 下京

下京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/shimogyo/>

市政情報総合案内コールセンター

京都いつでもコール

午前8時～午後9時

市への問い合わせに年中無休でお答えします。

☎ 661-3755 FAX 661-5855

電子メール パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
(右記のホームページから) 携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>